

認知症早期発見・診断・対応のシステムづくりに向けて

早期発見

気づき



認知症の症状に気づく人(機会)

- ◆本人・家族
- ◆医療機関(かかりつけ医、健康診査時等)
- ◆区市町村、地域包括支援センター
(介護予防基本チェックリスト、日常生活圏域ニーズ調査等)
- ◆介護サービス事業者(ヘルパー・ケアマネジャー等)
- ◆近隣の人、民生児童委員、町会・自治会

早期診断

受診



受診先

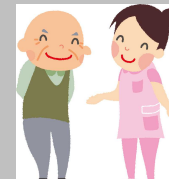
- ◆かかりつけ医 ◆認知症サポート医 ◆認知症専門医

受診に至らないケース等

- ◆認知症アウトリーチチームと認知症コーディネーターによる訪問・アセスメント

早期対応

日常在宅ケア



行動・心理症状悪化時など

認知症の人と家族を支える関係者

- ◆介護従事者(居宅・施設介護サービス従事者、ケアマネジャー等)
- ◆医療従事者(かかりつけ医、認知症サポート医、認知症専門医、訪問看護ステーション、薬局等)
- ◆医療機関(診療所、認知症疾患医療センター、一般・精神科病院等)
- ◆区市町村、地域包括支援センター、保健所、社会福祉協議会
- ◆NPO、町会・自治会、民生児童委員、認知症サポーター、ボランティア

認知症の理解と受診促進事業

認知症の症状やケアに関する正しい知識、疑わしい症状がある場合の相談先・受診先等について、普及啓発の充実を図り、認知症に対する偏見を

認知症疾患医療センター運営事業

普及啓発

専門医療相談の実施

鑑別診断

地域連携の推進

人材育成

身体合併症・行動心理症状への対応

認知症医療部会

国における「認知症医療支援診療所(仮称)」の検討も踏まえ、都における認知症疾患医療センターの機能、必要数等について検討

認知症早期発見・早期診断推進事業

認知症の疑いのある人を早期に把握・訪問し、状態に応じて適切な医療・介護サービスにつなげる仕組みづくり

(国) 初期集中支援チームのモデル実施

認知症コーディネーターによる早期発見・支援

地域包括支援センターの認知症対応力の強化

認知症アウトリーチチームの訪問・アセスメントによる早期診断・支援

医療従事者等の認知症対応力向上支援事業

医療従事者等の認知症対応力向上を図るために、より効果的な研修のあり方を検討・支援

多職種協働研修の実施に向けた準備

看護師認知症対応力向上研修の実施

【既存の研修事業】

- ・認知症サポート医の養成
- ・かかりつけ医認知症対応力向上研修
- ・認知症介護研修
- ・地域包括支援センター職員研修

区市町村における認知症の予防につながる取組を支援

参 考

認知症初期集中支援チームの初期という言葉の意味は、①認知症の発症後のステージとしての初期 ②認知症の人へ関わりの初期(ファーストタッチ)の2つの意味を示している。
おそらくモデル事業開始時については②が中心となるが、将来的に早期発見・対応、早期支援機能が充実するなど、地域のケアパスが定着すれば①が中心となると推測される。

【出典:認知症の初期集中支援サービスの構築に向けた基盤研究事業報告書(平成25年3月 国立長寿

認知症の人と家族を地域で支え、見守るための地域の多様な人材や社会資源による

認知症の人の家族を支える医療機関連携型介護者支援事業

医療機関と連携した介護者支援の会の取組を広め、介護者の孤立化を防止

東京都若年性認知症総合支援センターの運営

高齢者権利擁護推進事業

認知症地域支援推進員の活動

在宅療養の推進

地域密着型サービスの整備

住まいの確保

認知症高齢者グループホーム、特別養護老人ホーム、都市型軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等の整備及